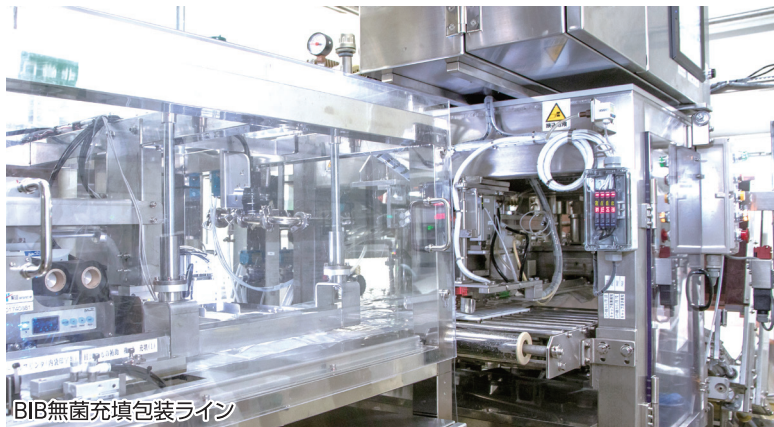


事業計画名 業務用小袋牛乳の全自動充填・梱包機器導入による新市場獲得



梱包機器



BIB無菌充填包装ライン



主力製品一覧



10kg詰め業務用製品

自動充填機で安全なおいしさを全国へ

1953年酪農家が集まって立ち上げた「札幌市厚別酪農業協同組合」は、平成の幕開けとともに新札幌乳業(株)として新たな歩みを始めた。生産者目線で原材料に誇りを持ち「安全でおいしいもの」をお届けするという理念はそのままに「小林牧場物語」シリーズなどの人気商品を育ててきた。近年の北海道ブランド人気とも相まって、同社の牛乳は業務用としての需要も多いが、これまでは10kg詰め業務用小袋の生産が追いつかず、機会損失の解消が課題だった。本事業では、その需要に対応するために全自動充填・梱包機器を導入し、無菌充填包装ラインを実現。生産効率のアップだけでなく、高度清浄区域での生産も可能になったため品質も大幅に向上し、さらなる需要の伸びを見込んでいる。

良質な商品でお客様を幸せに

こだわり品質の牛乳をお届け

近年、北海道ブランドの人気は著しく上昇。中でも、飲料、料理、パン、菓子などの加工品の原料として業務用製品の需要が飛躍的に高まっており、本事業でそこへの対応をした同社。消費者向けには、いい原料に健康にいいもの、たとえばオリゴ糖やシークワサーなどを取り入れて、さらに付加価値を高めた商品の開発なども行っている。

特に、原料の部分でクオリティ等を落とさないことにこだわり、85度で30分かけて低温殺菌している同社のノンホモ牛乳は固形分が多い高品質なおいしさが特長となっている。

北海道のコラボ商品を発信

「道産の新鮮な素材を一次産業で終わらせず、二次、三次産業へと広げていきたい。」と語る竹内社長。自社製品としても「小林牧場物語」ブランドを筆頭にチーズ、ヨーグルトなどの多くの商品を展開している。

また、各種メーカーとのコラボにも積極的で、酒造会社と開発したヨーグルトのお酒「雪あそび」、羽幌の甘えびを取り入れたスナック感覚の「カリッとゴーダ」などユニークな商品が並ぶ。「一社一社は小規模でも、横につながることで大きな力になれる。アイデアを持ち寄って、北海道からさまざまな食の楽しみを発信していきたい。」と考えている。



人気コラボ商品「カリッとゴーダ」



代表取締役

竹内 久夫

うちでは野幌森林公園に隣接する小林牧場の牛乳をすべて買い取ってますが、そこは「健康な土と草から健康な牛を」という循環型酪農を実践しています。昔、東京のパン屋さんがこの牛乳がいいと、わざわざスーパーで買ってきてパンを焼いていたのがとても嬉しかった。良質なものをお届けするという誇りを生産者と共有し、お客様に幸せを感じてもらえるような製品を作り続けたいと思っています。

TOPIX

2019年10月!

ヨーグルト新企画商品2種を発売!

10月から大丸百貨店で扱っている「ご褒美ヨーグルト」は800gのパウチ入りという新しい形態の飲めるヨーグルトでスムージー作りにも活躍しそう。また、道外向けには「シークワサー果汁入りさわやか乳酸菌飲料」も発売された。



COMPANY DATA

新札幌乳業株式会社

TEL.011-897-1661 FAX.011-897-1670

<https://www.shinsapporo-milk.co.jp/>

住 所 北海道札幌市厚別区厚別東4条1丁目1番7号
代表者名 竹内 久夫
資 本 金 5,000万円
設 立 平成1年4月1日
事業内容 乳処理及び販売
(牛乳、乳飲料、醗酵乳、乳製品、乳飲料等)